



No.4 労働災害防止活動及び働き方改革等に係る取組事例の紹介

第4回目の事例紹介は、[北日本採石興業株式会社](#)様から「広大な砕石場での対策」「重機による災害防止対策」「安全標語の取組」「安全パトロールと災害事例検討会の実施」「環境美化」「会社負担によるインフルエンザの予防接種」など、取組事例のご提供をいただきました。採石業以外の業種でも、災害防止対策の参考になる事例ですので、各事業場における取組みにご活用してください。

北日本採石興業（株）



採石場

北日本採石興業（株）は、盛岡の市街地からさほど遠くないところに広大な採石場があり、場内は大型ダンプカーが行き交い、重機が活躍しています。発破作業、掘削・切り出し、粉碎するクラッシャーなど、大きな施設や重機群を扱う仕事場です。



プラント



発破作業前のドリル



発破作業



クラッシャーへの運搬



大型ダンプカー



製品の積み上げ



製品保管場所



プラントの管理室



砕石場登坂路の整備

道幅

勾配

砕石場登坂路の整備

大型ダンプが往来する登坂路はすれ違いが十分に行える幅と勾配を10～15%を基準につくられています。



重ダンプの輪留めの設置

輪留め

重ダンプの輪留めの設置

駐車車両の重ダンプに輪留めを設置して万が一に備えます。



バックカメラとモニター

モニター

ホイールローダーのバックカメラとモニター

死角の大きいホイールローダーでは、後方のバックカメラとピラーに取り付けたモニターでの安全確認とバックブザーと後進時に点灯する青色ランプで事故防止に役立っています。



ダンプドライバーへの配慮



環境美化への取組

環境美化への取組

殺風景なイメージの砕石場に花を植えて、明るいカラーで見ると人の心を和ませています。

全社員で安全標語
事務職も含めた全社員が新年を迎えると共に安全標語を考えて、優秀な標語を5作品選んで岩手県採石工業組合に提出してから、優秀12作品に入選しています。



全社員で安全標語

足元に置かぬ広げぬつまづかぬ
整理整頓
心の余裕と仕事の質
〔北日本採石(株)東北地方砕石協議会入選〕

ダンプドライバーへの配慮
市道への出口付近の看板は、顧客様への御礼とダンプに積んだ砕石を安全にお届けするまでの安全運転啓蒙活動として看板を設置しています。



工場従事者一人ひとりの安全宣言



インフルエンザの予防接種の実施
毎年11月にインフルエンザの予防接種を会社負担で全社員が指定した病院で行っています。

工場従事者一人ひとりの安全宣言

2019年から始めた一人ひとりの「安全宣言」は毎年7月1日からの安全週間で書いて休憩室内に掲示します。
自分で決めた約束を守ること
で安全意識が高まっています。

全員での安全パトロールと災害事例検討会の実施

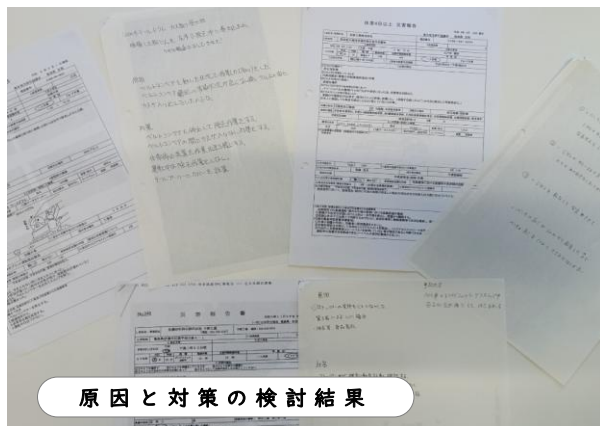
パトロールでは他部署を見ることでどのような作業を行っているかの状況説明を加えながら点検しました。

点検結果を全員が発表して、改めて採石業を知ることができて、気づきの場にもなりました。

事例検討会では工場社員で実際の同業の死亡事故事例報告書を使い、3班に分けて違う事故事例でディスカッションを行い最後に原因と対策の発表をしました。社員同士のコミュニケーションでお互いの考えを共有する場にもなり、安全意識の高まりにつながりました。



災害事例検討会の様子



原因と対策の検討結果

[illegible]

申込はこちらから→



令和八年度 全国労働衛生週間 岩手労働局長メッセージ

[illegible]

申込はこちらから→

